

第25回 国民文化祭 あづまの国文化祭

文芸祭 短歌大会

鏡野町主催事業では11月3日に「文芸祭短歌大会」が開催され盛況でした。大会には鏡野町文化協会をはじめとする町内外のボランティアの参加、山の彩り豊かな上齋原観光協会の紅葉弁当、鏡野夢広場の特産物販売、山田養蜂場のご協力による参加者記念品入れの手提げ袋・蜂蜜入賞者副賞には妖精の森ガラス

美術館製作のガラス皿の楯、前日交流会の奥津温泉足踏み洗濯など多くの方々の協力がありました。

また「おもてなし事業」として町商工会や奥津温泉の方々から花のプランターを植栽し、会場に花を添えました。また皇太子殿下を迎えて10月30日の桃太郎アリーナでの開会式では、富地域の布施神社お田植え祭が、参加し人気を博しました。そのほか県文化連盟の提案事業「旭川今昔写真展」には富地域の写真も含まれ、真庭市と岡山市天満屋で展示されました。短歌大会の参加者は県内・美作地域・町内はもとより、鳥取県歌人会や清脈短歌会の協力でまとまった山陰からの参加者が得られたほか、東北・関東からの一般参加者もありました。大会参加者の一部は、奥津温泉にも足を延ばされ紅葉を楽しまれたようです。



受付風景

「短歌大会」

11月3日鏡野中学校に於いて国民文化祭短歌大会が開催されました。当日は天候にも



恵まれ、県内
外から450
人の集客で会
場の鏡野中学
校講堂は満席
となりました。



「短歌交流会」

短歌大会前日の11月2日、津山鶴山ホテルに於いて選者・入賞者・一般参加者を交えて約100名参加の交流会が開かれ、短歌関係者が親交を深めました。アトラクションで奥津温泉足踏み洗濯が披露されました。